

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	加藤正・山内唯志			実務経験	有	職種	版画家、デッサン指導員				

授業概要

デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。初級者は基礎力を養います。

到達目標

デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようになるとともにものを見る力(観察眼)を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。ペン画の基本的なテクニックを身につける。

授業方法

鉛筆デッサンに加えてペン画を取り上げる。ペン画は自分のイメージをより明確に表現できる手段のひとつである。12回目からは、これまでの学習をふまえて自由テーマでの作品制作を実施する。自分が描きたいもの、表現したいもの、得意な表現方法などを考える上での最大の機会となる。また、前期同様に毎回人物クロッキーを5分x2回行う。

成績評価方法

課題作品の評価を主体とする。また、授業参加度や授業態度によって評価する

履修上の注意

授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること

教科書教材

参考書・参考資料等は授業中に指示する

回数	授業計画
第1回	【遠近法、透視図法について】遠近法、透視図法についての基礎を理解する
第2回	【ペン画(パターンの練習)】ペン画の基本的なパターンを理解する
第3回	【校内写生(雨天順延)】ペン(ボールペン)でのスケッチに慣れる

第4回	【静物、石膏像デッサン(1)】構図について理解する
第5回	【静物、石膏像デッサン(2)】デッサンの基本について理解する
第6回	【自画像を描く】明暗の差と質感をうまく表現できるようにする
第7回	【ペン画(小物をモチーフ)】ペンでの質感の表現の仕方を理解する
第8回	【ペン画(画像を見て描写[動物])(1)】ペン画での制作のプロセスを理解する
第9回	【ペン画(画像を見て描写[動物])(2)】明暗の階調と質感を適切に描写する
第10回	【ペン画(画像を見て描写[風景])(1)】ペン画での遠近の描き分けを理解する
第11回	【ペン画(画像を見て描写[風景])(2)】描く対象物に応じた適切なペンタッチを理解する
第12回	【ペン画着彩(自由テーマ)(1)】色彩についての基本を理解する
第13回	【ペン画着彩(自由テーマ)(2)】テーマに合ったペンタッチとパターンで描く
第14回	【ペン画着彩(自由テーマ)(3)】テーマに合った色彩で描く
第15回	【ペン画着彩(自由テーマ)(4)、発表】作品を完成させる